



## 『成人先天性心疾患診療部』をご紹介します

### 立野統括部部長からのメッセージ：

2018年より専門外来を開始、2021年より成人先天性心疾患診療部としてスタートしました。  
生まれつき心臓の病気をお持ちで、年齢的に小児科を卒業された方の診療を中心としています。  
成人期の妊娠・出産や心理・社会的問題、心臓以外の体の問題なども他の診療科や部門と連携して対応しています。いつの間にか病院から足が遠のいてしまったという方も遠慮なくご相談下さい。

氏名	職名	専門領域
立野 滋	統括部長	成人先天性心疾患 小児循環器 不整脈
江畑 亮太	小児科部長(兼任)	成人先天性心疾患 小児循環器 小児一般
高田 展行	小児科部長(兼任)	成人先天性心疾患 小児循環器 小児一般
鋪野 歩	小児科医長(兼任)	成人先天性心疾患 小児循環器 小児一般
椛沢 政司	心臓血管外科部長(兼任)	成人先天性心疾患 小児循環器 成人心臓外科疾患
丹羽 公一郎	循環器内科 嘱託	成人先天性心疾患 小児循環器

### 診療概要

高校生以上の先天性心疾患と、後遺症のある川崎病の方が対象となります。心臓に関して、外来では内服薬での治療やペースメーカー管理だけでなく、定期的にレントゲン、血液検査、心臓超音波検査などを行って合併症などの早期発見に努めています。カテーテル検査やカテーテル治療、手術などは入院にて対応します。  
妊娠出産は産婦人科や新生児科と連携して対応しています。

### 診療実績

2021年度

カテーテル施行 20例  
(カテーテルアブレーション1例を含む)  
心臓手術 15例  
出産数 3例

転居により他県からのご紹介もあり、外来管理患者数は2022年6月時点で400人を越えました。